

寺社を巡る会

活動記録書

開催日： 平成27年10月1日（木）	開催テーマ： 菅田・羽沢の田園に富士塚と野仏を訪ねて
開催場所： 神奈川区菅田・羽沢地区	記入者： 山下 晶三
参加人数： 寺社を巡る会会員 男28名 女4名 計32名 ビジター 男 名 女 名 計 0名 合 計 32名	
実施内容（実施の項目、方法、効果・成果、宿題 など）： コース：片倉町駅～双体道祖神～最勝寺・富士塚～菅田神明社～おしゃもじさま～庚申塔～羽沢スポーツ会館（昼食）～富士塚～羽沢神明社～硯松の碑～道祖神～東泉寺～菅田・羽沢農業専用地区～菅田みどりの丘公園～専称寺～片倉町駅 今回は市の中心部に近いながらも田園の風情を色濃く残す、神奈川区の菅田・羽沢地区の探訪であった。江戸時代から戦後の高度成長期に至るまで田園地帯であったこの地区には、村の安全や繁栄を願った野仏が数多く残っている。今回の探訪中にも石仏や石塔類が多数みられた。 定刻に地下鉄片倉町駅より出発。菅田街道沿いの双体道祖神を経て高野山天台宗の熊野山 最勝寺を訪れた。本尊は薬師如来坐像（像高 29cm）、門前に庚申塔と供養塔がまつられていたが、瞠目したのは寺の背後にある区内最大の最勝寺富士塚であった。頂上に大日如来像が安置。毎年6月1日に山開きが行われる由。 続いて神奈川区選定「わが町かながわ50選」の一つ菅田神明社にお参り。祭神は天照大神。明治以前は最勝寺が別当であった。その後畑の中を歩き、供えられている「しゃもじ」で喉を撫ぜると百日咳が治るといふ、おしゃもじ様と庚申塔をお参りして、11時半過ぎ昼食場所の羽沢スポーツ会館に到着。 午後の出発時はかなりの雨となり、以後雨中の行進となった。 最初に訪れた羽沢富士塚はこじんまりして手入れも良かった。この塚の保存の為に隣接部の道路幅員を半分にし、且つ湾曲させているのが、土地の人たちに大事にされていることを示す。その後、西向き鎮座で珍しい羽沢神明社と、太田道灌の小机城攻めに由縁の硯松の碑を経て、広蔵山 成願院 東泉寺に参詣。当山は高野山真言宗 本尊は薬師如来立像（像高 28cm）、脇侍は日光菩薩 月光菩薩である。 次は、貨物線羽沢トンネル掘削の残土を利用して造成した約60ヘクタールの菅田・羽沢農業専用地区と、やはり広大な菅田みどりの丘公園を通過して、最終目的地の松澤山 一向院 専称寺に到着。本尊は阿弥陀如来立像（像高83cm）脇侍 観音菩薩 勢至菩薩である。境内にある観音堂の如意輪観音菩薩坐像は伝運慶作である。 最後はバスで片倉町駅へ移動し、代表のあいさつと共にガイドさんに感謝し14時30分に散会した。	
参加者の状況・意見など： ガイド資料も良く整備され、また説明もまじめで好感を持たたと云う意見が多かった。今回残念であったのは、ご努力して頂いたにも拘らず高野山真言宗二寺のうち一寺でもと願った法話が高野山開創1200年行事のため両寺とも住職不在で出来なかった事です。次回以降に期待しましょう。	
次回の予定： 11月5日（木）10:00 JR大口駅 花木園地区	